

かわべ 議会 だより

2026 8.6

No. 188

編集 / 議会報編集委員会
発行 / 川辺町議会



contents

令和8年第2回定例会	2
総務委員会審査	3
PICK UP	4
議案一覧表	6
一般質問	7
議会レポート	11
議会日誌・編集後記	12



COVER

ハラスメント防止研修



第2回 定例会を開催しました！

6月定例会 会期日程 6月3日～12日

令和8年第2回定例会を、6月3日から12日の会期で開催しました。報告案件2件、承認案件2件、人事案件13件、議案8件を審議し、いずれも可決しました。議会最終日12日には、議案1件を追加上程し、原案のとおり可決しました。

一般会計では、中東情勢の影響による「ごみ袋作成費」、農業担い手育成支援として「地域農業構造転換支援事業補助金」を増額。

国の交付金の内示に伴う財源及び事業費の見直しにより「橋りょう修繕事業」、「町道新設改良事業」、「中川辺駅西地区周辺整備事業」を減額。

このほか、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計についても所要額を補正しています。

西小学校6年生の児童が議会を傍聴しました。(12日最終日 一般質問)



6年1組(本会議場)



6年2組(正副議長室)

総務委員会審査 Q & A

6月定例会では、議案8件を総務委員会に付託しました。

6月3日に各課から説明を受け、質疑応答・必要書類の提出を求め審査しました。審査に当たっては、延べ19件余りの質疑応答を行い、6月4日に討論・採決した結果、全ての議案について、全会一致で可決すべきものと決定しました。

審査における主な質疑応答は次のとおりです。



1

令和8年度一般会計補正予算(第1号)

●自主防災組織育成補助金について

Q 比久見地区の自主防災組織が設置予定の防災倉庫の設置場所は？

また、どのような資機材等が整備されるのか？

A 場所は、比久見上公民館の敷地内又は隣接と聞いている。今年度は、防災倉庫を設置し、次年度に資機材等を検討される予定である。

●地域農業構造転換支援事業補助金について

Q 農業用機械のリース契約も対象になるのか。また、補助対象となった機械は何年間使用する必要があるのか？

A 農業用機械のリース導入も対象となる。補助率は取得額相当の7分の3。今回の補助対象となるトラクターは7年間となる。



補助事業

●こども園職員人件費について

Q 保育士を公募しているが、その理由(保育士の休職補充、未満児の増加による等)は？

A 町長の公約である第2子以降の保育料無償化により入園希望者の増加が見込まれるため、これに対応すべく会計年度任用職員を募集している。



●給食センター電気設備修繕について

Q 修繕の内容は？

A 給食センターの車両を保管している車庫のシャッターを修繕するもので、モーターのほか駆動関係の部品交換等も含む。

2

川辺町総合計画基本構想を定めることについて

Q 産業振興の構想中で「企業誘致」について触れられていないが？

A 地域経済の活性化では、新たに商工観光部門の課を設置する方針であり、中小の商工事業者を増やすことに注力したい。理由は、本町の規模では、大企業を誘致しても地方交付税の不交付団体になることは難しく、仮に企業誘致により税収が増えたとしても、地方交付税が減ってしまう。こういった状況で、どれだけ企業誘致に資金をつぎ込めるのか。また、企業誘致に関する財政的な支援(固定資産税納付相当分の補助等)も自治体間での競争が激化している。大企業誘致による雇用の拡大という面もあるが、これについては中小事業者を呼び込むことで達成したい。大企業誘致をあきらめているわけではない。



地方交付税

定例会で審議された案件の中から、承認案件、人事案件、その他案件、各会計補正予算をピックアップして詳しく説明します。

PICK UP

承認案件

①. 専決処分について承認を求める件《川辺町税条例の一部を改正する条例》

地方税法の一部改正に伴い、町条例の一部を改正しました。

主な改正点は、医療費控除の特例(特定一般医薬品等購入費)の延長、住宅借入金等特別税額控除適用期限の延長、特定暗号資産の課税見直し、固定資産税では免税点見直し及び能登半島地震に係る特例の新設、軽自動車税では、環境性能割の廃止などの改正です。

②. 専決処分について承認を求める件《川辺町国民健康保険税条例の一部を改正する条例》

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律及び地方税法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、町条例の一部を改正しました。

主な改正点は、子ども・子育て支援納付金課税額の賦課項目を新設、国民健康保険税の基礎賦課額にかかる課税限度額を67万円(現行66万円)に引き上げるなどの改正です。



人事案件

①. 川辺町固定資産評価審査委員会委員

現固定資産評価審査委員会委員 佐藤雅彦氏(3期目)の任期が令和8年8月8日で満了となるため、再任することに全会一致で同意しました。

任期：令和8年8月9日から令和11年8月8日(3年)

②. 川辺町農業委員会委員

現農業委員会委員(12名)の任期が令和8年7月19日で満了するため、次の方を委員に任命することに全会一致で同意しました。

任期：令和8年7月20日から令和11年7月19日(3年)

委員氏名(住所 6月現在の期数)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ・小栗宗治氏(中川辺 現在5期目) | ・牧田加津己氏(比久見 現在1期目) |
| ・大谷信雄氏(西栃井 現在1期目) | ・栗畑由美子氏(中川辺 新規任命) |
| ・三宅信之氏(下川辺 新規任命) | ・加藤宏幸氏(鹿塩 現在1期目) |
| ・山田浩氏(下飯田 新規任命) | ・所雅子氏(比久見 新規任命) |
| ・馬場誠氏(下吉田 現在1期目) | ・長谷川浩氏(下麻生 現在1期目) |
| ・岩井恭子氏(中川辺 現在1期目) | ・平岡正男氏(石神 現在4期目) |

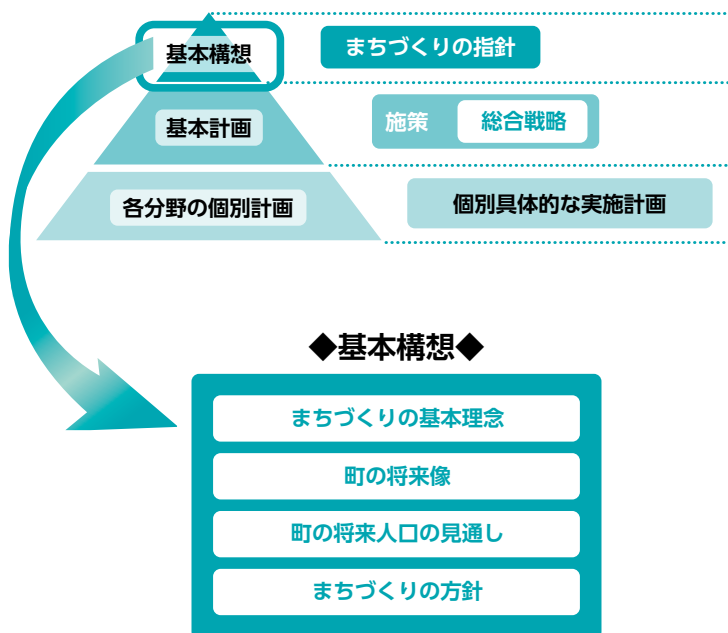


その他案件

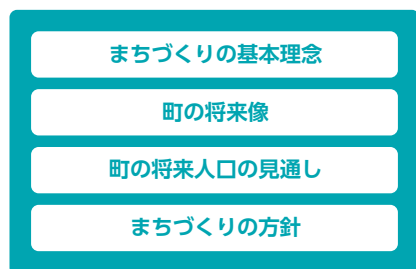
川辺町第6次総合計画基本構想を定めることについて

川辺町第6次総合計画は、本町の全ての計画の指針となる最上位計画です。この総合計画は、3つの階層で構成されており、このうちの基本構想(令和9年度から10年間)について議決をしました。

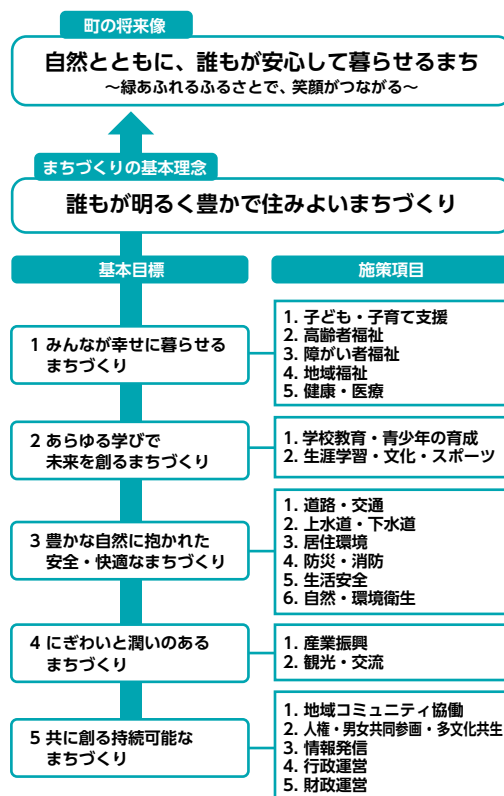
◆計画の位置づけ◆



◆基本構想◆



◆施策体系◆



各会計補正予算

一般会計及びその他特別会計等では、追加の財政需要等に対する予算の補正が行われました。

一般会計補正予算(第1号)の内容

令和8年度一般会計 ▲7,992万6千円

歳入

- ・社会資本整備総合交付金
(国:▲3,564万8千円)
- ・地域農業構造転換支援事業補助金(県:272万7千円)
- ・基金繰入金(▲3,821万6千円)など

歳出

- ・人件費(▲4,680万3千円)
- ・廃棄物分別収集処分事業(210万5千円)
- ・地域農業構造転換支援事業補助金(272万7千円)
- ・中川辺駅西地区周辺整備事業(▲3,600万円)など

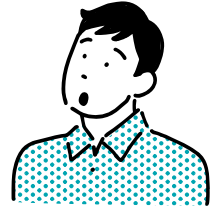
その他 特別会計等補正状況

会 計 名		補 正 額	会 計 名		補 正 額
介護保険 (補正第1号)		▲227万9千円	介護保険 (補正第2号)		64万4千円
水道事業	(収益の収入)	110万8千円	下水道事業	(収益の収入)	▲1万2千円
	(収益の支出)	110万8千円		(収益の支出)	▲1万2千円
	(資本の収入)	36万2千円		(資本の収入)	71万円
	(資本の支出)	36万2千円		(資本の支出)	71万円



＼ 気になる話題はどうなった？ /

令和8年 第2回定例会の 議案一覧表



件 名	採決状況 (賛成：反対)	結果
令和7年度川辺町一般会計及び介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書	報告のみ	
令和7年度川辺町下水道事業会計予算繰越計算書	報告のみ	
専決処分について承認を求める件《川辺町税条例の一部を改正する条例》	賛成 8：反対 0	承認
専決処分について承認を求める件《川辺町国民健康保険税条例の一部を改正する条例》	賛成 8：反対 0	承認
川辺町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求める件	賛成 8：反対 0	同意
川辺町農業委員会委員の任命につき同意を求める件(12件)	賛成 8：反対 0	同意
川辺町議会議員及び川辺町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	賛成 8：反対 0	可決
川辺町附属機関設置条例の一部を改正する条例	賛成 8：反対 0	可決
川辺町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	賛成 8：反対 0	可決
川辺町第6次総合計画基本構想を定めることについて	賛成 8：反対 0	可決
令和8年度川辺町一般会計補正予算(第1号)	賛成 8：反対 0	可決
令和8年度川辺町介護保険特別会計補正予算(第1号)	賛成 8：反対 0	可決
令和8年度川辺町水道事業会計補正予算(第1号)	賛成 8：反対 0	可決
令和8年度川辺町下水道事業会計補正予算(第1号)	賛成 8：反対 0	可決
令和8年度川辺町介護保険特別会計補正予算(第2号)	賛成 8：反対 0	可決

各種行事に 参加 しました！

5月から6月にかけて、開催された中学校スポーツフェスティバル、加茂郡体育大会、かわべ清流レガッタなどスポーツイベントに参加しました。町民の皆さんとの交流を深めるとともに、地域の活性化やスポーツ振興への理解を深める機会になりました。



中学校スポーツフェスティバル



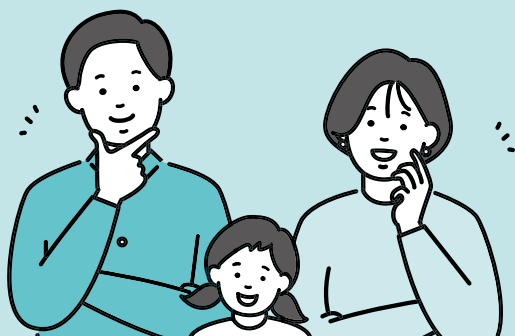
加茂郡体育大会



かわべ清流レガッタ

今知りたい
こんなこと

一般質問



「一般質問」とは、議員が町の一般事務に対してその執行の状況又は将来の方針、政策的提言や行政の課題などを町長などの執行機関に直接質問することです。

議会を動画で
見よう



紙面の都合上、一般質問と答弁を要約してあります。インターネットで一般質問の様子を見ることができます。

川辺町 一般質問

検索



おく だ てつ や
奥田 哲也 議員



問 川辺町立川辺西小学校の防犯・安全警備体制について

町長 今ある危機に対して即時対応します。

Q 川辺町内の教育・保育施設を視察した結果、川辺西小学校の防犯対策に強い懸念を抱きました。同校は敷地の多くが開放的で、外部からの侵入が容易な状況です。具体的には、東側や北側の境界が隔離されていない点や、防犯カメラの不足・死角といった課題が挙げられます。校舎の建て替えや義務教育学校化などの将来構想がある中でも、児童の安全確保は急務です。本来は部署ごとに管轄が分かれますが、これらの課題を踏まえ、学校施設の防犯・安全対策について町長のお考えをお聞きます。

A 西小学校等の視察での指摘を受け、子どもたちの安全確保を最優先に、学校再編の検討状況に関わらず以下の緊急対策を速やかに講じます。

◆現状の課題認識

敷地の開放性による侵入の容易さや防犯カメラの死角・台数不足による抑止力の弱さを確認しました。

◆防犯カメラの緊急整備

町内全校を対象に、関係部署と連携し、画角の見直しや増設を実施します。

◆物理・ソフト面の強化

侵入防止策の検討、地域連携による見守り活動の推進、および「命を守るための避難訓練」の実施により、ハード・ソフト両面から安全対策を強化します。

今ある危機に対して即時対応し、子どもたちの安全を確保してまいります。





問 川辺町のごみ袋について

産業環境課長 在庫は確保しており、値上げは予定していません。

Q 中東地域における主要海上輸送路の閉鎖リスクにより、世界的に原油の供給が滞っている状況の中、石油製品に使われるナフサの供給不足が懸念されています。他の自治体ではごみ袋の売り切れや品薄状態になっているとの報道もされています。川辺町では、ナフサ不足に伴うごみ袋の供給に対する影響は、現在どのような状況になっていますでしょうか。また、ごみ袋の値上げについて、なにか検討していることはありますか。

A 中東情勢の影響による原材料(ナフサ)の供給不安が懸念されていますが、本町のごみ袋供給については次のとおり対応いたします。

◆供給体制の現状

今年度末まで対応可能な在庫を確保しており、現時点で町内での買い占め等は確認されておらず、安定供給を維持しています。

◆製作コストへの対応

原材料費の上昇分については、補正予算を計上して対応いたします。

◆住民負担への配慮

生活必需品であることを考慮し、現時点でごみ袋の値上げをしない方針です。

◆今後の備え

国際情勢は不透明であるため、引き続き在庫と市場動向を注視し、不測の事態に備えた代替案の検討など、安定供給と住民サービス維持に努めてまいります。



問 夏の児童の下校時におけるバスの運行について

町長 子どもたちの命と安全を守るため、緊急対策を継続・拡充します。

Q 昨年、木下町長の発案で夏の下校時、小学校から自宅まで概ね2.5km超の児童を対象にスクールバスが運行され、マスコミでも多数報道されました。今年は5月にも関わらず、すでに30度を超える最高気温の日もあり、真夏にかけて更なる気温上昇が心配されるところです。過保護になってはいけませんが、炎天下の中での下校はかなり厳しいものになるかと思えます。昨年度は、その距離、概ね2.5km超を目安としていました。この線引きはかなり難しいものがあると思いますが、今年の運行について町長のお考えをお聞きます。

A 近年、熱中症のリスクが年々高まっていることを受け、子どもたちの命と安全を守るため、昨年度の緊急対策を継続・拡充いたします。

◆実施の背景

地球温暖化により、命に関わるレベルの酷暑が増加していることへの強い危機感に基づき、行政の重大な責務として実施します。

◆今年度の対応・対象拡大

昨年度の「下校距離2.5km超(低学年優先)」という基準を見直し、対象を「下校距離2km超の全学年」へ拡充し、試行的に実施します。

◆総合的な安全対策

バス運行のみならず、通学路の見守り、熱中症対策グッズの活用、学校施設の空調管理など、地域や保護者と連携してハード・ソフト両面から子どもたちの命を守る対策を推進します。

今後も限られたリソースを活用しながら、子どもたちの健康を守るための環境整備に全力を尽くしてまいります。

さくら い もと しげ
桜井 真茂 議員

問 スポーツ少年団活動及び地域クラブ活動の送迎の現状について

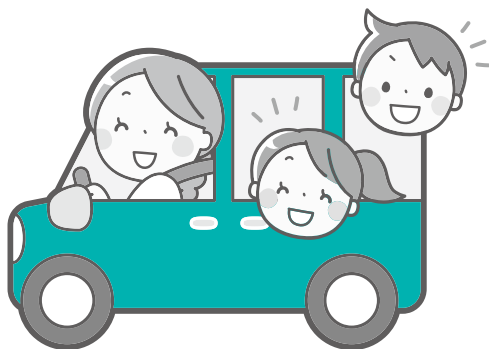
生涯学習課長 保護者の負担軽減とともに、安全管理を徹底します。

Q 先般、福島県内の高速道路で高校生が乗ったマイクロバスがガードレールにぶつかり大破する悲惨な事故が発生しました。事故の責任はどこにあるのかマスコミでも大きく取り上げられております。わが町のスポーツ少年団や地域クラブ活動においても町外に遠征して対外試合を行うこともあると思いますが、その移動手段はどのようになっているのかお尋ねします。また万が一のときに、きちんと補償される体制が整っているのかお聞きします。

A 保護者間の「相乗り」送迎に関し、次のとおり安全対策を講じてまいります。

まず、道路運送法上の「白タク行為」に抵触しないよう、ガソリン代等の精算は実費の頭割りに留め、謝金等の徴収を避けるよう徹底を求めています。万が一の交通事故に備え、運転者の任意保険加入状況の事前確認を推奨するとともに、子どもや保護者には「スポーツ安全保険」への確実な加入を指導しています。

送迎自体は保護者会の自主活動であり行政が直接的な法的責任を負うものではありませんが、道義的な指導責任を重く受け止め、安全運転の啓発など積極的な支援を継続します。今後も保護者の負担軽減に配慮しつつ、安全管理の徹底を図ります。



い ど み かね
井戸 三兼 議員

問 川辺町における商業活性化対策について



町長 令和9年度に商工・観光分野を一体的に担う新しい組織体制を構築します。

Q 『住み続けたい街ランキング』で全国4位・東海地域で1位となった川辺町のブランド力を活かし、商店街の活性化を図るべきです。かつて賑わった本町商店街の賑わいを取り戻すために、商業版の空き家対策(空き店舗登録制度)を提案します。具体的には、空き店舗の情報発信に加え、改装費補助や固定資産税(償却資産)の免除等を行い、新たな業種を誘致します。そして、既存のイベント(FUMOTO、川辺おどり・花火大会、かわべ清流レガッタ、マリンスポーツフェスティバル、民間で行われる酒蔵開放等)やトレッキングのお客さまを商店街へ誘導し、「一過性から継続性へ」「点から線へ」と繋げる回遊型の仕組み作りが不可欠です。この活性化戦略に対し、町の考えをお聞きします。

A 商店街を取り巻く環境は厳しいものの、川辺町が「住み続けたい街」として高い評価を得たことは大きな好機です。町はこの評価を商業振興へつなげるべく、空き店舗の有効活用に向けた制度創設の検討や、既存の店舗改装補助の周知、新規出店への支援策について、財政面や公平性を考慮しながら研究を進めます。

また、既存の交流イベントによる「点」の集客を、商店街への回遊という「線」へつなげ、交流人口の増加を地域消費へ結びつけることが重要です。今後は商工会等と連携し、「一過性から継続性へ」の取り組みを推進します。さらに、本町の商工業振興と観光振興をより効果的に推進するため、令和9年度から、商工・観光分野を一体的に担う新しい組織体制を構築する予定です。加えて、地域資源の磨き上げや情報発信のさらなる強化にも取り組み、交流人口・関係人口の拡大と地域経済の活性化につなげてまいります。今後も持続可能なにぎわいの創出と活力あるまちづくりを実現します。

い ど み かね
井戸 三兼 議員

問 福祉バスの停留所について

健康福祉課長 安全を最優先し、現状維持に努めます。

Q 1年前の一般質問において、コミュニティバスの管理主体について尋ねたところ、福祉バスの機能強化を図るため、デマンド機能の追加や近隣市町村との交通機関の連携を検討しているとのことでしたが、進捗状況はどうでしょうか。

また、福祉バスの役場前駐車場についてですが、公民館入口に変更できませんか。現在の位置ですと、雨の日には傘を差さねばなりませんし、夏の暑さや冬の寒さにも困ります。公民館前ですと入口庇の下で待ち合わせたり、中にいれば冷暖房も効いておりますので、交通弱者にとってはうってつけの所と思います。ぜひお考え頂きたいのですがいかがでしょうか。

A 現在、バス運行の利便性向上に向け、デマンド運行など多様な方式の導入や、町主体による管理効率化を調査・検討しています。また、「みのかも定住自立圏」と連携し、広域交通網の構築に向けた協議も開始しました。利用者の声をもとに公共交通のあり方を前向きに検討します。

福祉バスの役場前停留所移設については、公民館前への移設を関係各課で検証しました。その結果、利便性の向上は期待できるものの、駐車車両との接触リスクや歩行者との交錯といった安全面、イベント時の運用面、利用者間の公平性に課題が残りました。町は「安全」を最優先とし、現状の運用を維持する方針です。今後は安全確保を前提としつつ、可能な限り利用者の不安解消に努め、貴重な意見を将来の運行計画に反映させてまいります。



いち はら たか お
市原 敬夫 議員

問 高齢化時代における福祉政策について



町長・住民課長・健康福祉課長 補聴器購入費助成は、対象者や財政面等を整理し、前向きに検討します。

Q 少子高齢化が進む中、川辺町では高齢者がいつまでも元気で過ごすことが福祉費抑制にも繋がります。健康で生きがいのある暮らしを実現するため、次の4点をお聞きます。

- ① 高齢化時代における福祉政策の取り組みについて
- ② 高齢者の社会参加と生きがいを支えるシルバー人材センターへの支援・連携・環境整備の考え方について
- ③ 健康維持に向けた、保健センターの健診項目拡充と、後期高齢者の人間ドック受診費用に対する一部補助について
- ④ 高齢者の心身の健康や認知症予防、事故防止が期待される補聴器購入費用の一部補助について

住民が地域で安心して暮らせるよう、具体的な施策への見解をお聞きます。

A 本町では、高齢化に伴う福祉費増大を背景に、高齢者が「健康長寿」で活躍できる環境づくりを重視しています。町は「活躍の場」「交流の場」「公園の利活用」を軸に、活力あるまちを目指します。

健康管理については、既存の健診に加え、個々の状況に応じた保健指導を継続します。人間ドック助成などは、費用対効果や公平性を考慮し慎重に研究します。

高齢者の社会参加を支えるシルバー人材センターについては、今後も連携し、生きがいづくりや活躍の環境整備を進めます。また、聴力低下が社会参加を妨げる懸念については強く認識しており、補聴器購入費助成について、対象者や財政面等の課題を整理し、導入に向けて前向きに検討してまいります。今後も心身ともに健やかな地域社会の実現に向け、多角的に取り組んでまいります。



さくら い よし お
櫻井 芳男 議員

問 自治会消滅危機について

参事 兼
総務課長

住民が主体的に活動できる地域社会の実現に向けて議会とともに取り組みます。

- Q** 高齢化に伴う自治会活動の維持困難や脱会事例が報告されています。これを受け、町へ次の点をお聞きします。
- ① 過去に「自治会加入は任意であるが、加入促進に努めたい」と答弁している。現在までどのような取り組みが行われましたか。
 - ② 「自治会の負担軽減・資金援助」に関して具体的に実施された運営支援策は。
 - ③ 自治会問題は全国的な課題であり、重層的な地域コミュニティ再構築のため、執行部と議会が共同で勉強会等を立ち上げ、自治会のあり方や加入促進について、議会と執行部が連携して問題解決に取り組みませんか。

A 少子高齢化やライフスタイルの変化により自治会のあり方が問われる中、町は加入の自主性を尊重しつつ、転入者への周知や区長等の相談支援を行っています。運営負担の軽減については、文書配布の効率化や区長会長職の廃止、公民館の修繕補助見直しなどを進めてきました。

自治会運営は住民の主体的な取り組みが基本ですが、行政は可能な範囲で環境整備や助言を行っています。また、自治会が直面する課題は従来の枠組みを超えており、執行部と議会で連携し、新しい地域コミュニティの構築に向けた検討を行うことは非常に重要です。今後も議会と協議を重ね、現状把握や課題整理を行う枠組みを調整してまいります。時代の変化に応じ、住民が主体的に活動できる地域社会の実現に向けて取り組んでまいります。

議会レポート

ハラスメント防止研修(オンライン形式、講師による講義形式)



令和8年5月18日(月)「議員が知るべきハラスメントの基礎知識」についてオンラインで受講しました。講義では日ごろの何気ない言動がハラスメントに繋がることを学びました。

また、7月21日(火)には、講師を招き、ハラスメント防止について実践的な事例を学びました。講師による講義とグループワークを通して、ハラスメントに関する正しい知識や、相手を尊重したコミュニケーションの重要性について学びました。

また、事例をもとに意見交換を行い、さまざまな視点や考え方に触れることで、ハラスメント防止への理解を深めました。

議員という公の立場を再認識するとともに、相手の方の気持ちも考え、言動に配慮し議員活動を進めてまいります。



議会日誌

令和8年5月～7月

5月

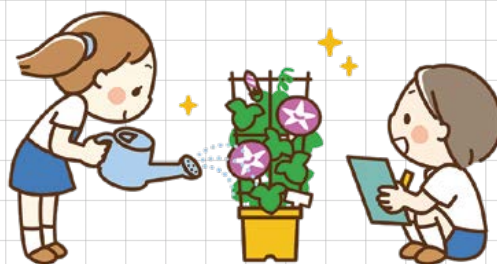
- 8日 四線期成同盟会監査
- 9日 加茂地区交通安全協会
川辺支部定期役員総会
- 10日 青少年育成町民会議
- 13日 国民健康保険運営協議会
- 18日 ハラスメント研修
(オンライン)
介護保険評価委員会
- 19日 可茂町村議会議長会
会計監査
川辺おどり・花火大会
実行委員会
- 20日 可茂地域市町村議会
議長会議
- 21日 議会行政連絡会議
- 22日 名濃道路建設促進期成
同盟会総会
- 25日 中学校スポーツフェス
ティバル
- 26日
↳ 正副議長研修会
- 27日
- 28日 議会運営委員会
洞戸・川辺/上野関線
期成同盟会会計監査

6月

- 1日 町村議会議長会臨時総
会・評議員会
- 3日 定例会(初日)
総務委員会
(定例会終了後)
- 4日 総務委員会
- 7日 加茂郡体育大会
- 8日 社会福祉協議会理事会
- 12日 定例会(最終日)
国民平和前行進
- 14日 かわべ清流レガッタ
- 18日 可茂土木事務所との行
政懇談会
- 25日 国道41号美濃加茂・下呂
間強靱推進同盟会総会

7月

- 2日 議会報編集委員会
東海環状自動車道中東濃
地域建設促進協議会
- 9日 可茂地域一部事務組合
議会第1回臨時会
- 10日 学校給食運営委員会
- 14日 議会報編集委員会
- 16日 四線促進期成同盟会総会
- 21日 ハラスメント研修
(講師派遣)
- 22日 議会報編集委員会
- 29日 可茂町村議会議員研修
会・情報交換会



編集後記

1年間にわたり議会報編集委員長を務めてまいりましたが、今月号をもって委員長を退任する予定です。これまで議会活動を、よりわかりやすくお伝えすることを目標に紙面づくりに取り組んでまいりました。不十分な点もあったかとは存じますが、読者の皆さまから寄せられたご意見や感想に大いに励まされました。また、編集委員各位をはじめ、議会事務局の皆さま、制作・印刷に携わってくださった関係各位のご協力により、無事にその任を果たすことができたことを心より感謝申し上げます。今後も、一議員として引き続き議会活動に取り組むとともに新たな体制による議会だよりが、これまで以上に親しまれ信頼される紙面となることを期待しております。

引き続き、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
結びに在任中に賜りましたご厚情にあらためて御礼申し上げます。

奥田 哲也

議会報編集委員会



議会報編集
委員会の様子

委員長 奥田 哲也
副委員長 巖 敬一郎
委員 平岡 正男